

小金井市新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設に係る

市民説明会

- | | | | |
|-----|-----------|-------------|-------------|
| 第1回 | 10月31日(火) | 19:00~21:00 | 市民会館・萌え木ホール |
| 第2回 | 11月 1日(水) | 19:00~21:00 | 公民館貫井南分館 |
| 第3回 | 11月 3日(祝) | 14:00~16:00 | 東小金井駅開設記念会館 |
| 第4回 | 11月 3日(祝) | 19:00~21:00 | 公民館緑分館 |
| 第5回 | 11月 4日(土) | 14:30~16:30 | 公民館貫井北分館 |
| 第6回 | 11月 4日(土) | 19:00~21:00 | 中町桜並集会所 |

- ② 「実施設計図[概要版]」に基づく現設計の説明
(基本設計からの変更点)

- ③ 「検証報告書[概要版]」に基づく検証結果の説明

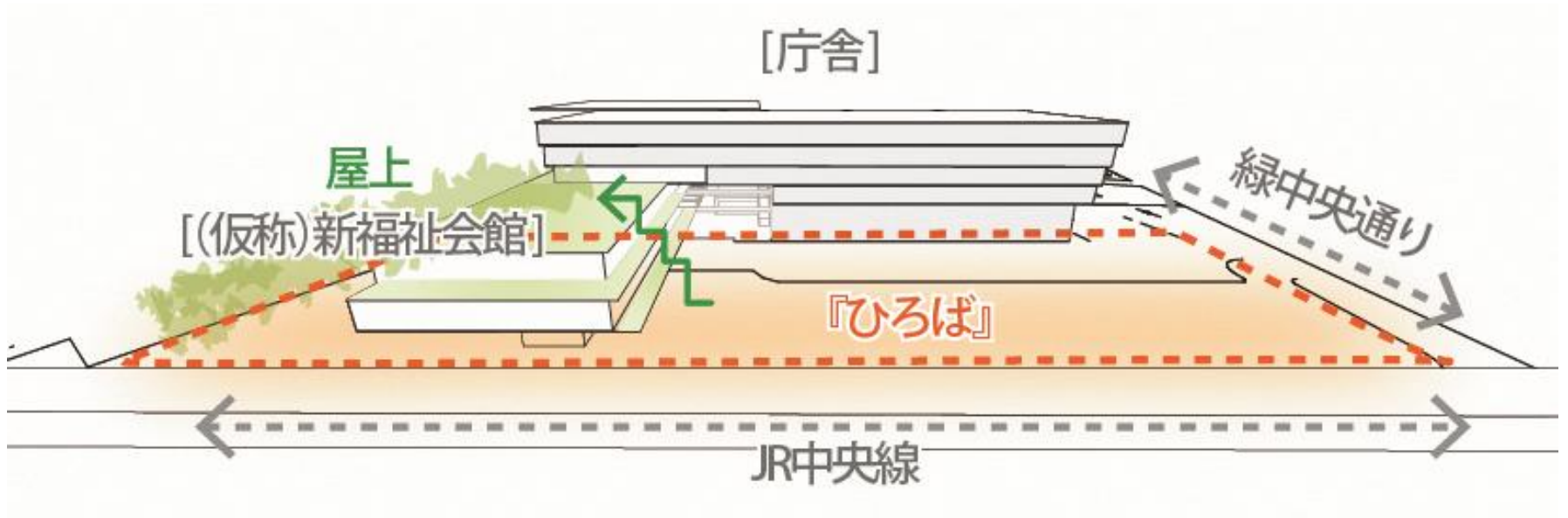
「実施設計図[概要版]」 に基づく現設計の説明

「庁舎」と「(仮称)新福社会館」を『重ね合わせ』
市民が主役となる『交流の場』をつくります



point 1

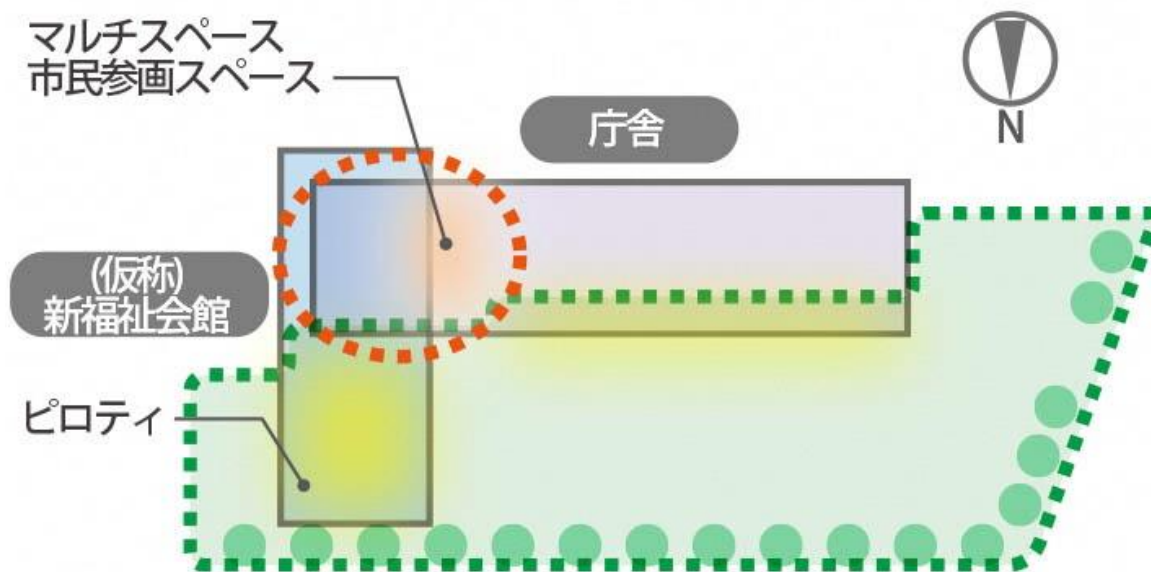
建物と一体となった立体的な『ひろば』



- ◎敷地内に大きなスペースを創出し、さらに(仮称)新福祉会館の屋上まで立体的にひろばを繋ぎます。
- ◎既存の樹木も活かしながら、市民の憩いの場・交流の場をつくります。

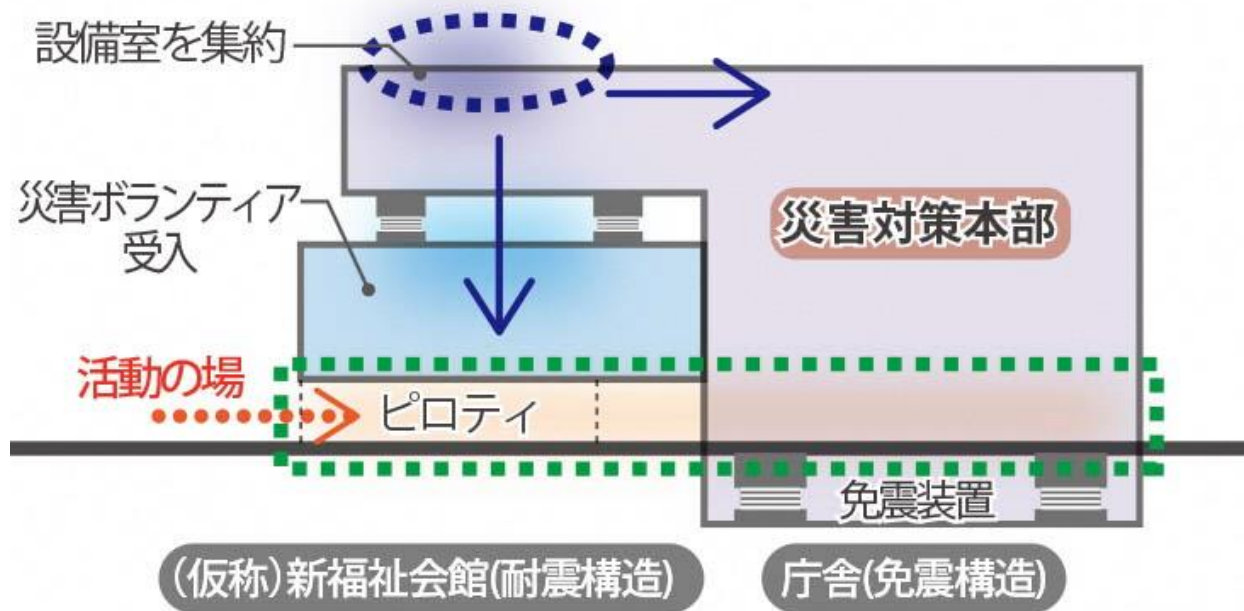
point 2

『重ね合わせ』することで連携や相互利用がしやすい庁舎



◎庁舎と(仮称)新福祉会館の複合部分であるマルチスペース、吹抜けに面して市民活動スペースを配置することで、人と人が集う活動スペースが繋がり、両施設の相互利用が活性化します。

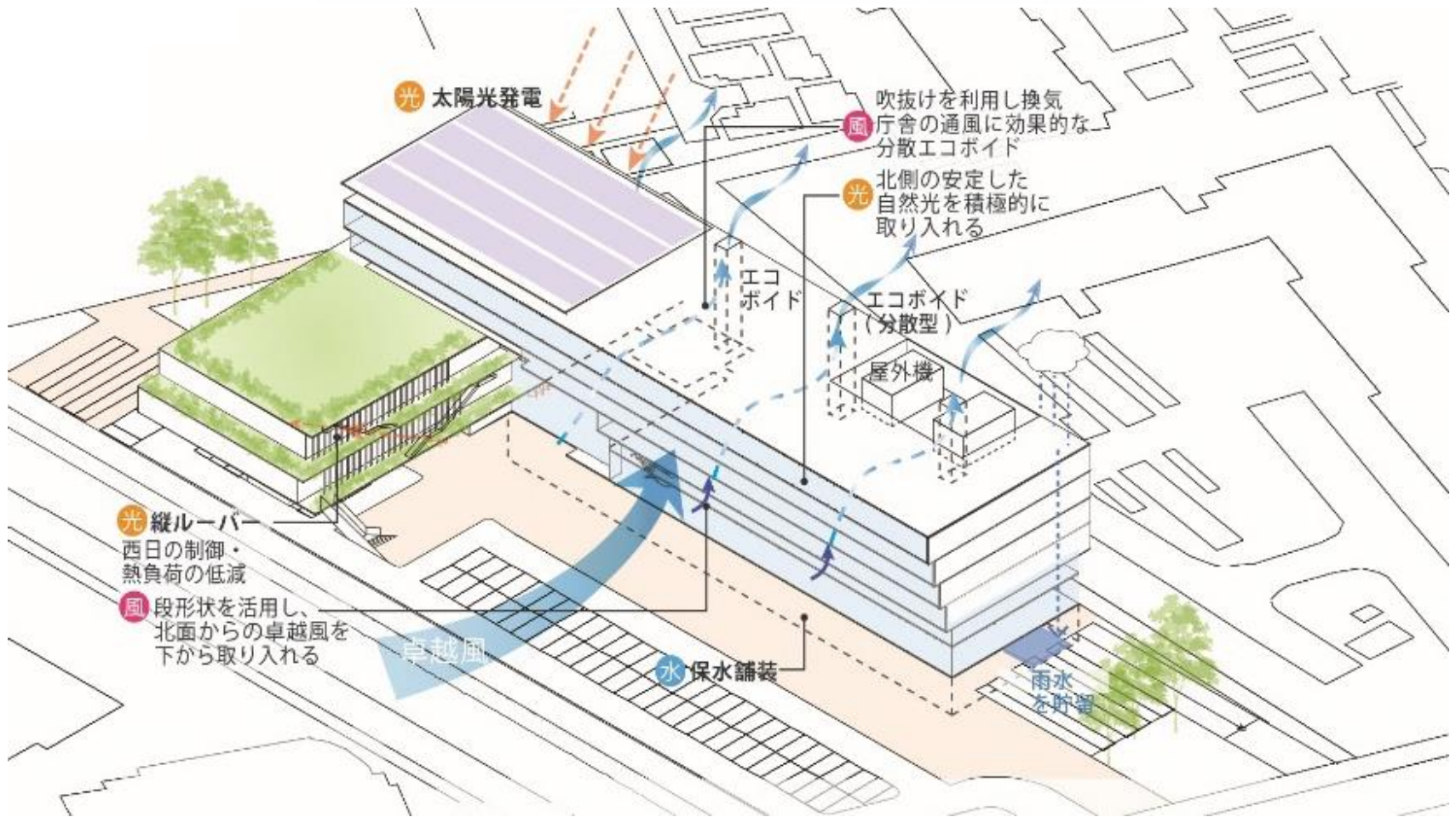
point 3 『防災の拠点』として、安全・安心の複合庁舎



- ◎災害対策の拠点となる庁舎は、発災後、速やかに活動できるよう免震構造を採用します。
- ◎災害ボランティアセンター等が設置される(仮称)新福祉会館には雨に濡れずに活動できるピロティを設置し、防災の拠点として有機的に機能します。

point 4

循環型都市を目指して、 環境にやさしい施設



◎小金井の自然を活用し、高効率設備の設置、運用により、快適で省エネルギーな環境にやさしい施設を目指します。

■敷地概要

計画地 : 小金井市中町三丁目
1957 番 5,7,9
小金井市緑町五丁目 1957 番 17

敷地面積 : 11,417.39 m²

用途地域 : 準工業地域

防火地域 : 準防火地域

高度地区 : 第 2 種高度地区

日影規制 : 4 時間、2.5 時間

建ぺい率 : 60%

容積率 : 200%

■建築計画概要

主要用途 : 庁舎、児童福祉施設等、集会場

建築面積 : 約 4,090 m²

延床面積 : 約 18,896 m² (地下階含む)

階数 : 地上 6 階、地下 1 階 (庁舎)

地上 3 階 ((仮称)新福社会館)

構造 : 庁舎…鉄骨造 (免震構造)

((仮称)新福社会館…鉄骨造 (耐震構造))

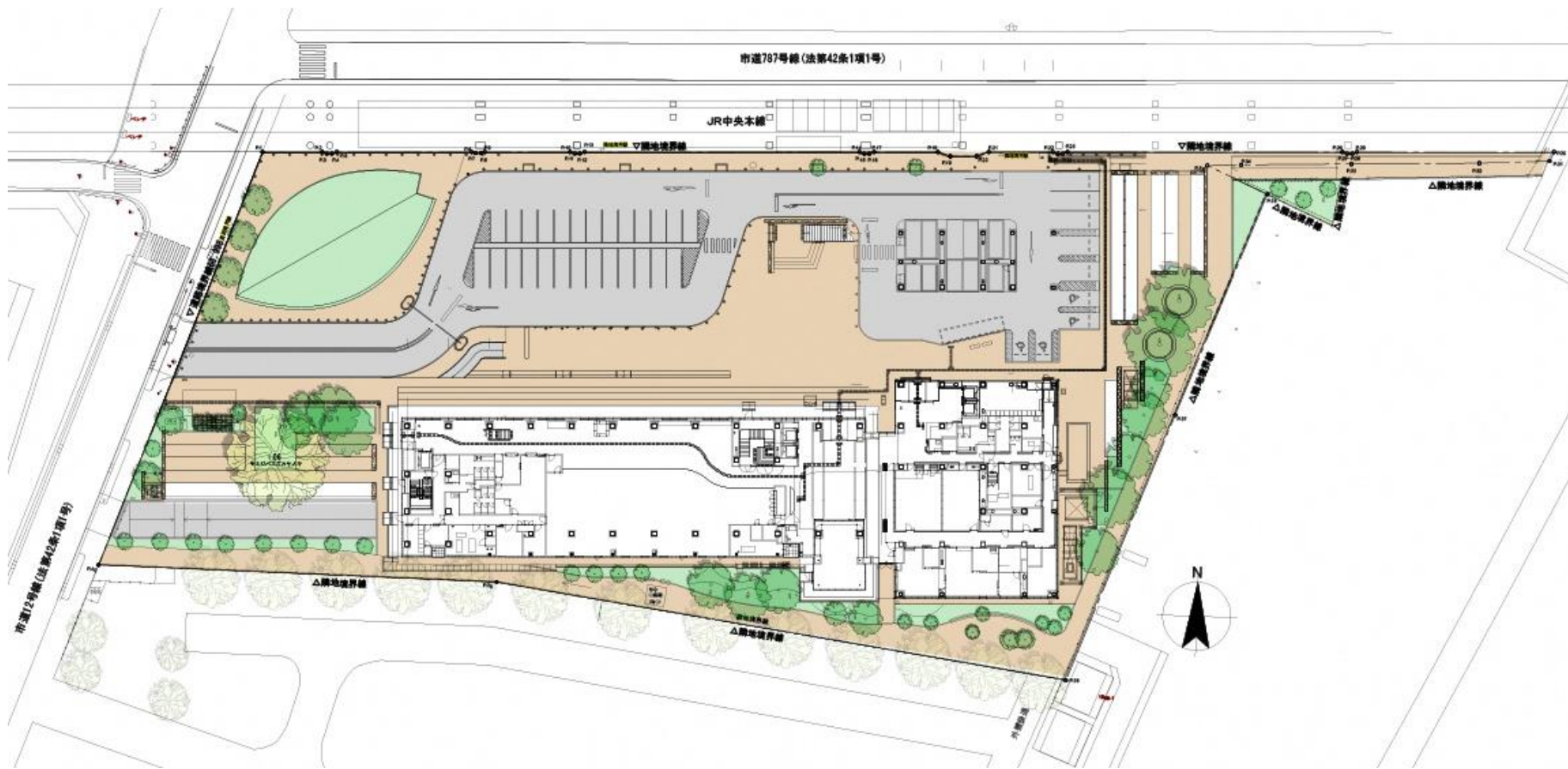
最高高さ : 約 27m

駐車台数 : 109 台 (地上 45 台、臨時駐車場 23 台、地下 41 台)

駐輪台数 : 450 台

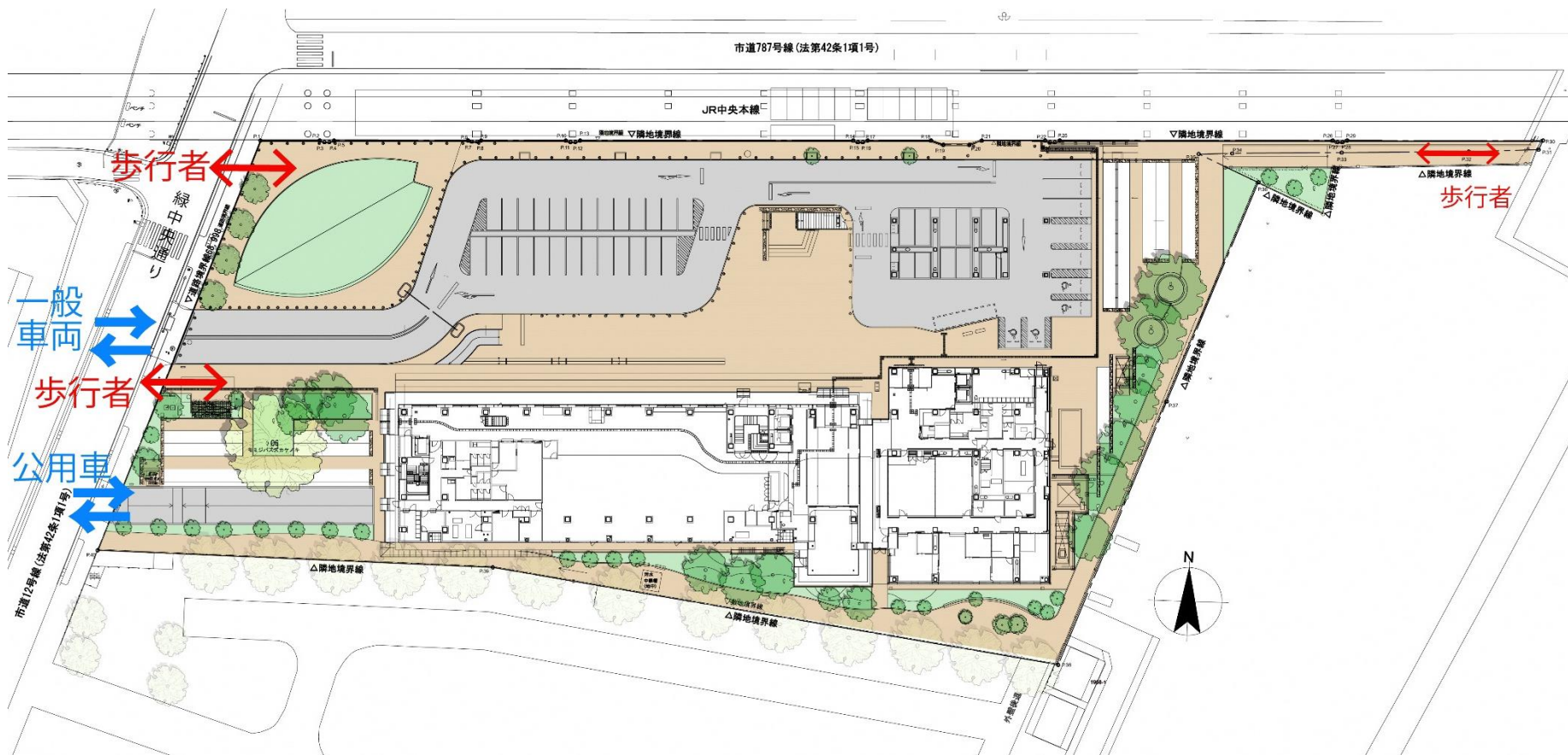
配置計画・外部動線計画

□ 配置計画



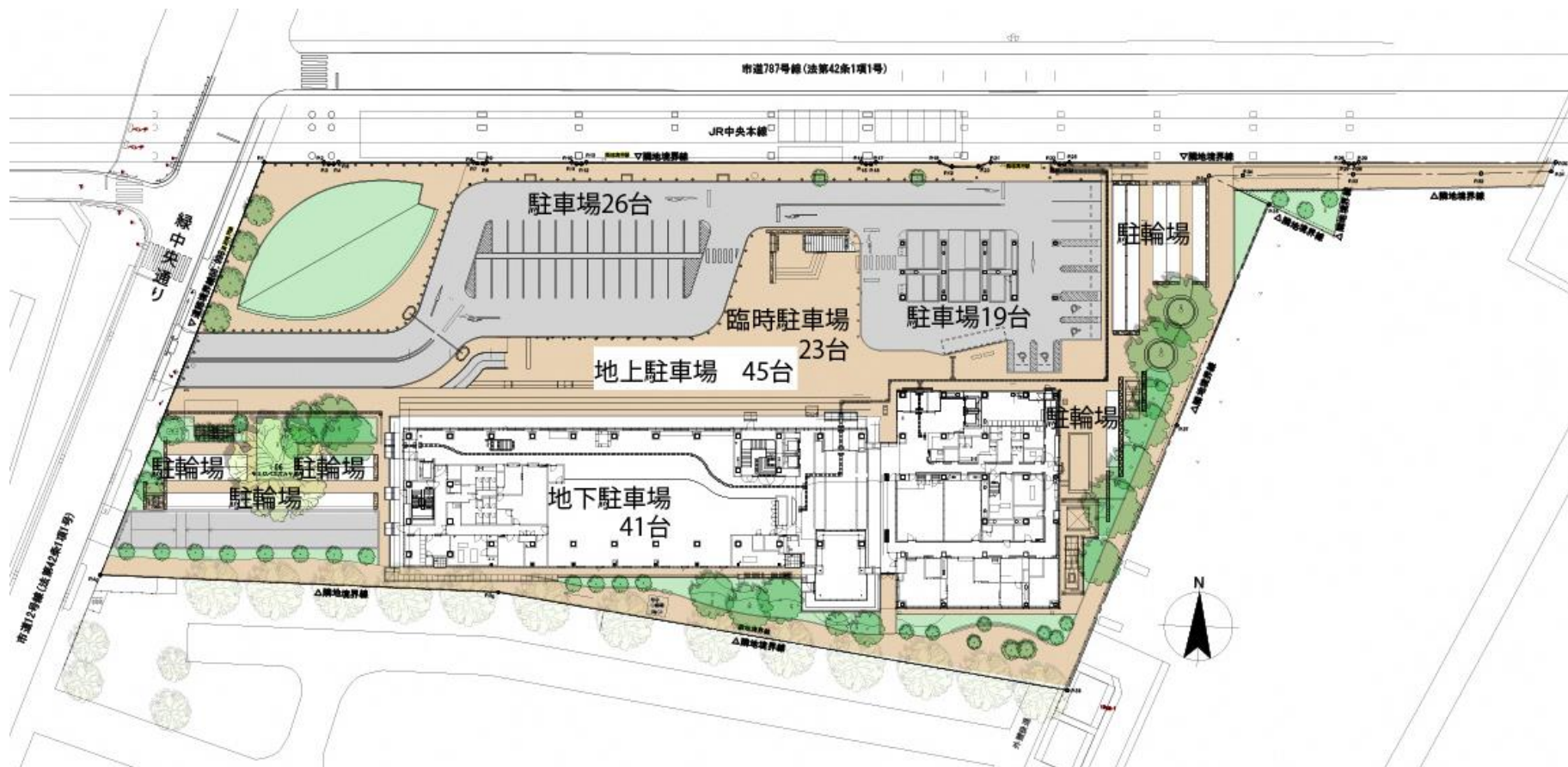
◎庁舎を敷地南側に、(仮称)新福社会館を敷地東側に配置することで、敷地北側に広いオープンスペース(駐車場、ひろば)を設ける計画とします。

□ 外部動線



◎歩行者、車両ともに敷地西側の緑中央通りが主な出入口となります。

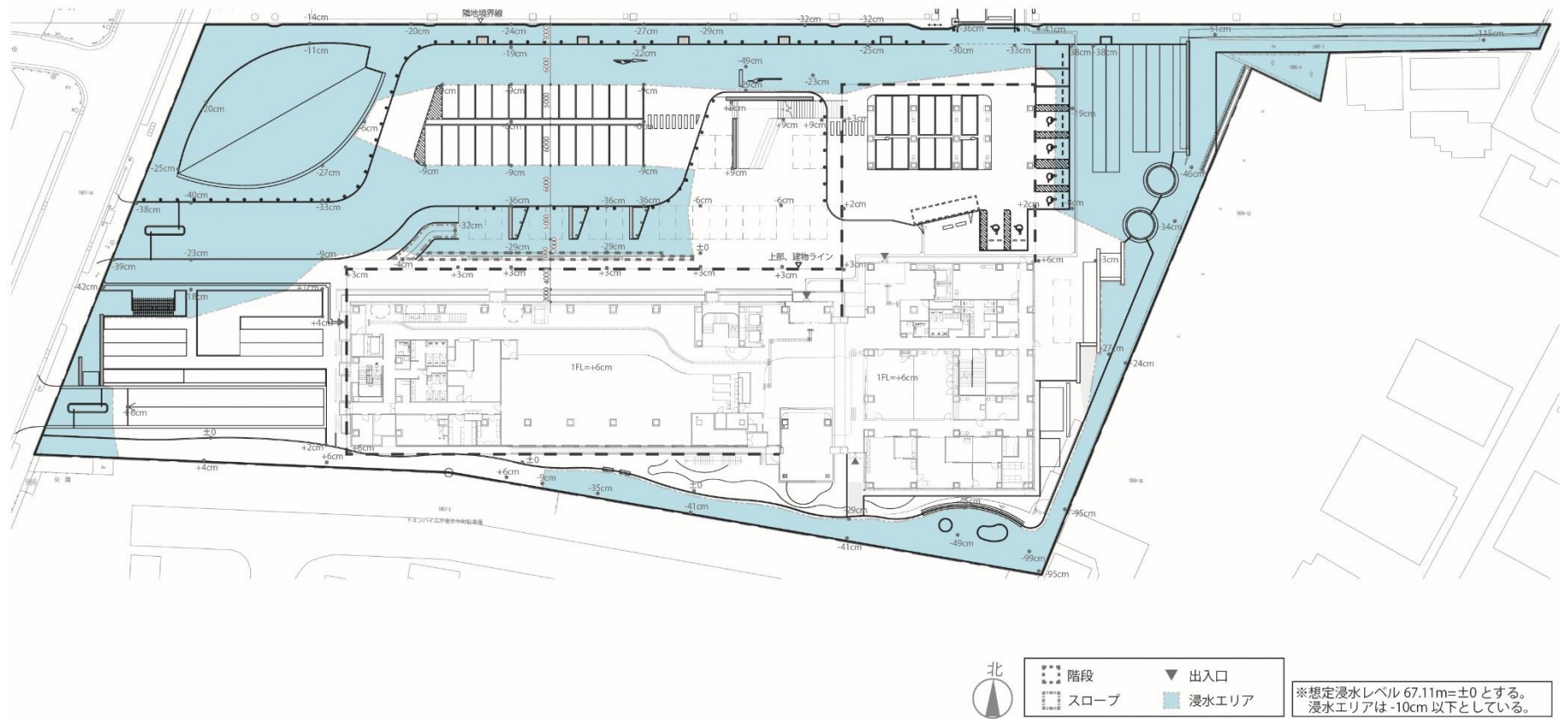
□ 駐 車 場 計 画



◎『ひろば』は平常時は人が集えるようなスペースとして、繁忙期は臨時駐車場として使用できるよう整備します。

◎駐車場は、地上駐車場45台+臨時駐車場23台+地下駐車場41台の計109台を設置できるよう計画します。

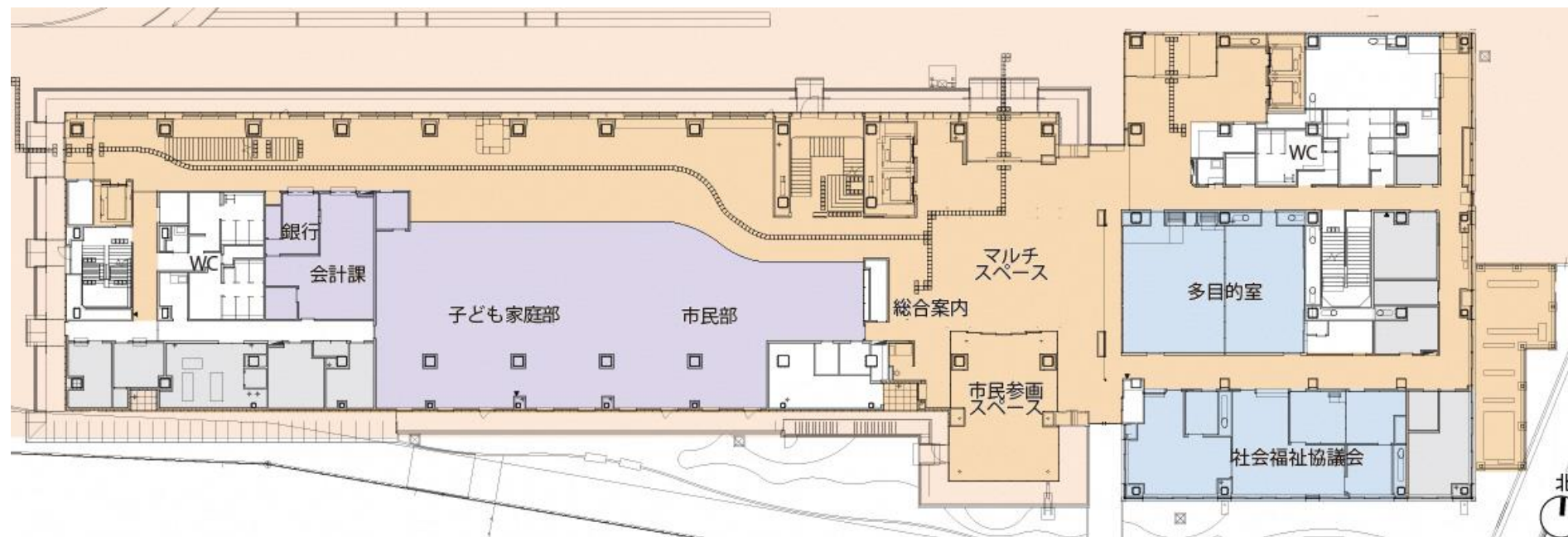
□ 浸水対策



◎建物部分と敷地一部に対して浸水対策をおこないます。

◎想定最大規模降雨時の敷地内の状況としては、外構の一部が浸水するおそれがありますが、駐車場等の確保は可能です。

平面計画



庁舎

(仮称)新福社会館

1F

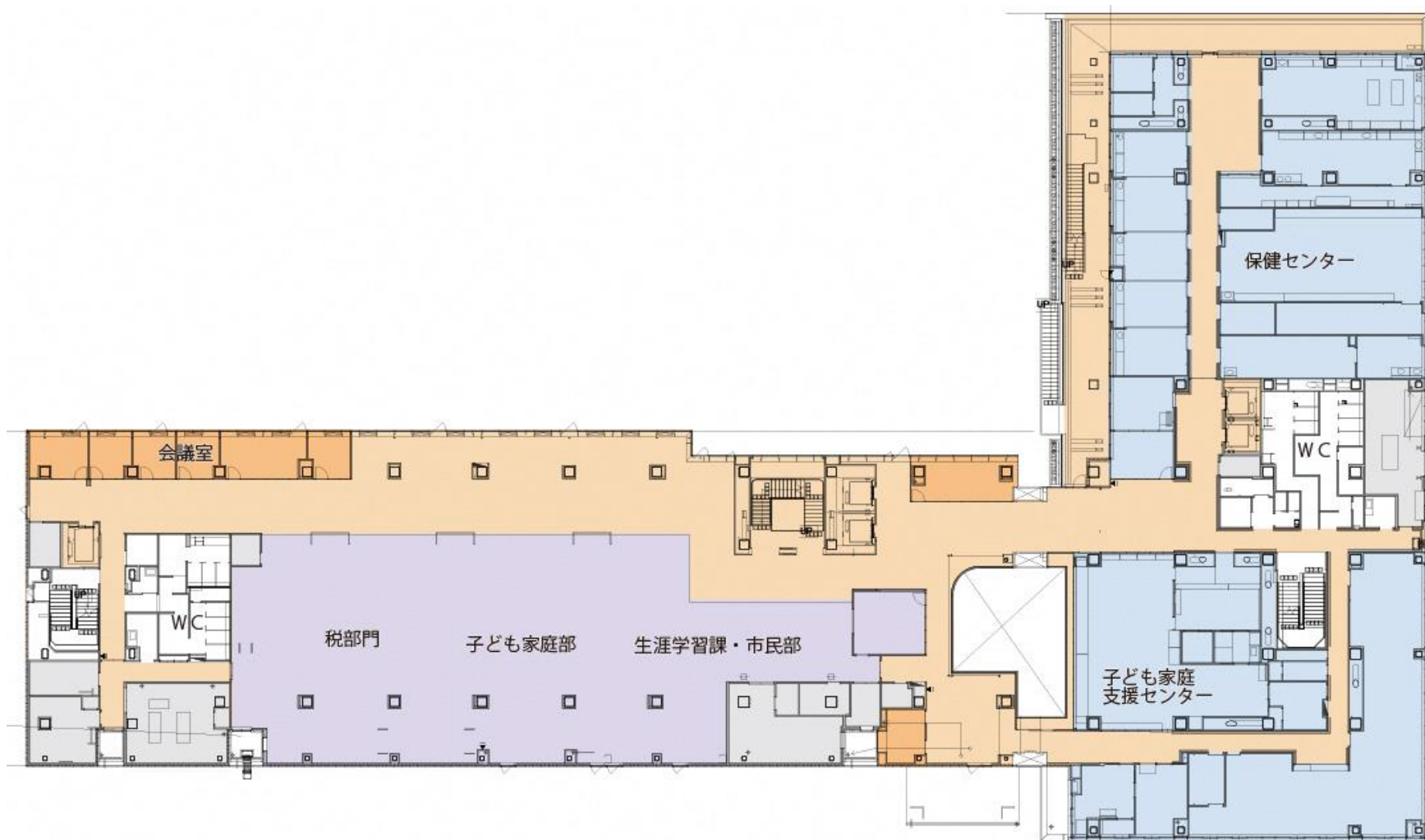
◎庁舎は市民の利用が多い市民部、子ども家庭部を配置するほか、会計課、指定金融機関窓口等を配置します。

◎また、(仮称)新福社会館に社会福祉協議会を配置し、行政と連携します。



◎庁舎は福祉保健部を配置します。

◎(仮称)新福社会館は、福祉の総合的な窓口機能を配置することで、福祉と行政のつながりを強化し、市民サービスの向上を目指します。

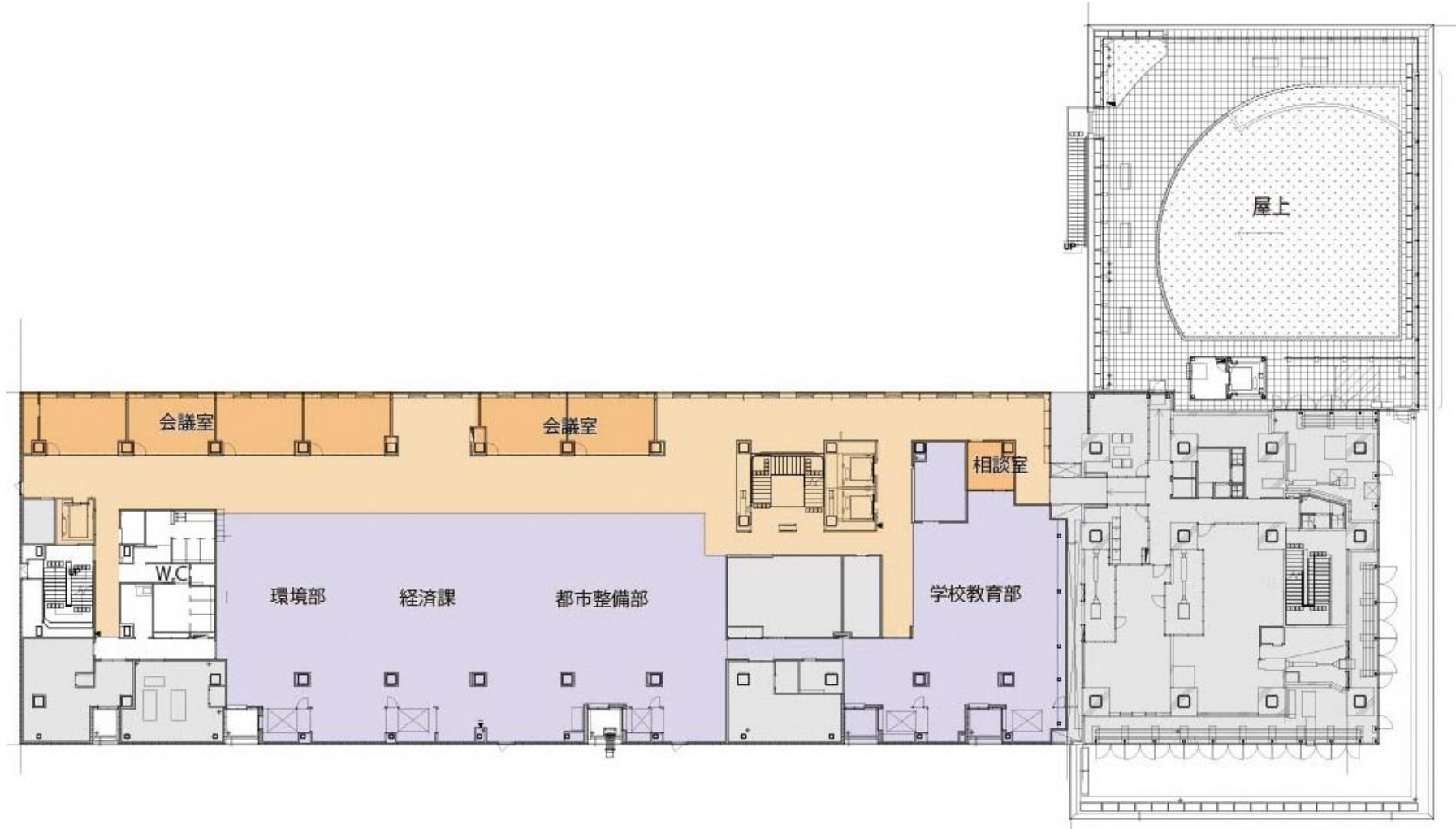


庁舎

(仮称)新福祉会館

3F

- ◎庁舎は税部門・子ども家庭部・生涯学習課・市民部を配置します。
- ◎(仮称)新福祉会館は、保健福祉と子育て・子育て支援関連の機能を配置したフロア構成とします。



庁舎

(仮称)新福社会館

4F

◎庁舎は西側には、環境部、都市整備部、経済課など、東側は学校教育部を配置します。

◎また、(仮称)新福社会館の屋上は、階段以外にもエレベーターでアクセスできるようにします。



5F

- ◎庁議室、市長室等理事者諸室、企画財政部、総務部等を配置します。
- ◎災害対策本部が設置される庁議室や大規模な会議室を配置するほか、地域安全課執務室、災害情報室を配置して「防災の拠点」として機能するよう計画します。

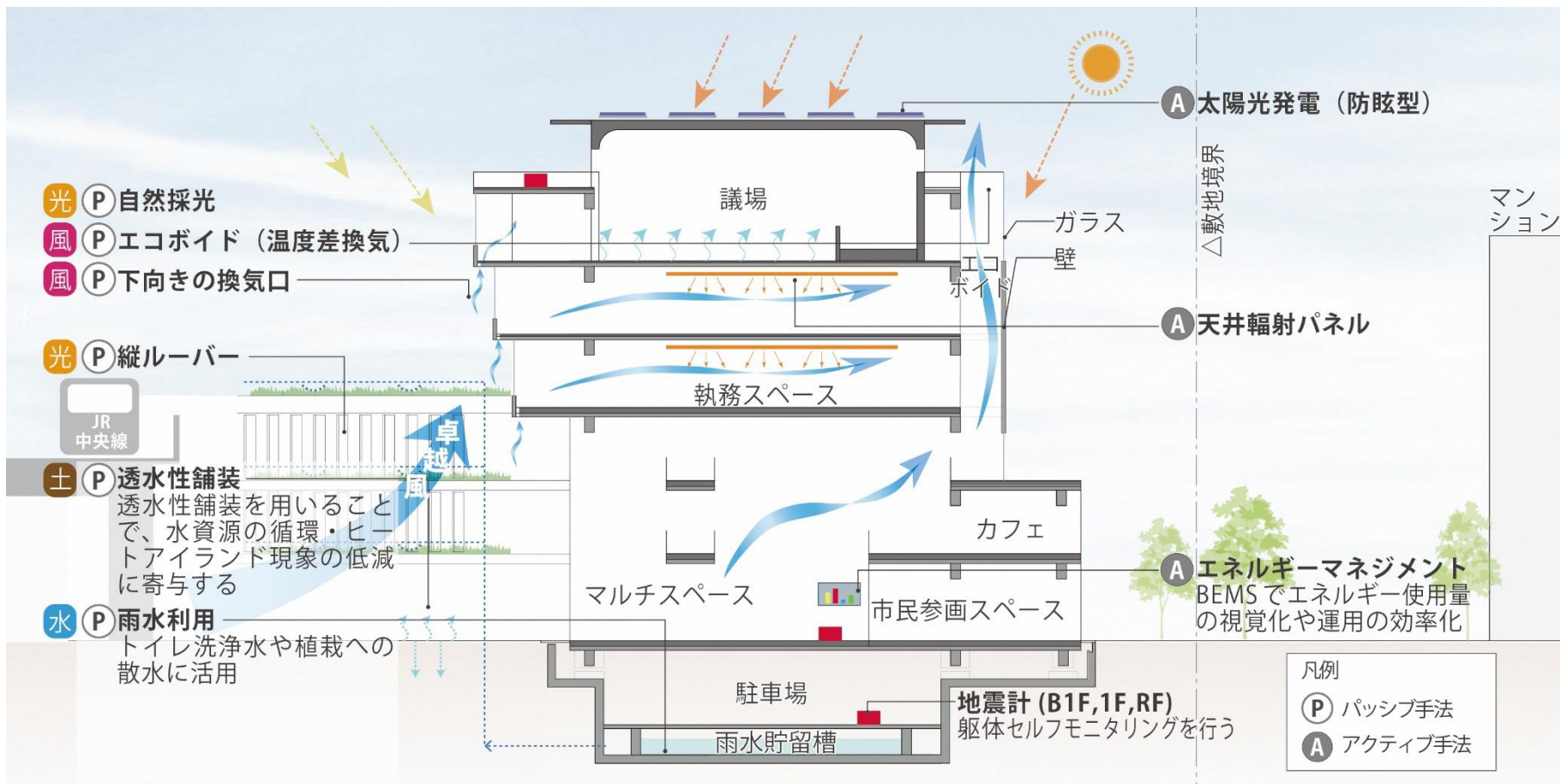


6F

- ◎議場を中心に委員会室、議員控室等議会関係諸室をまとめて配置します。
- ◎議場の周りは回遊できる計画としています。

環境・防災計画

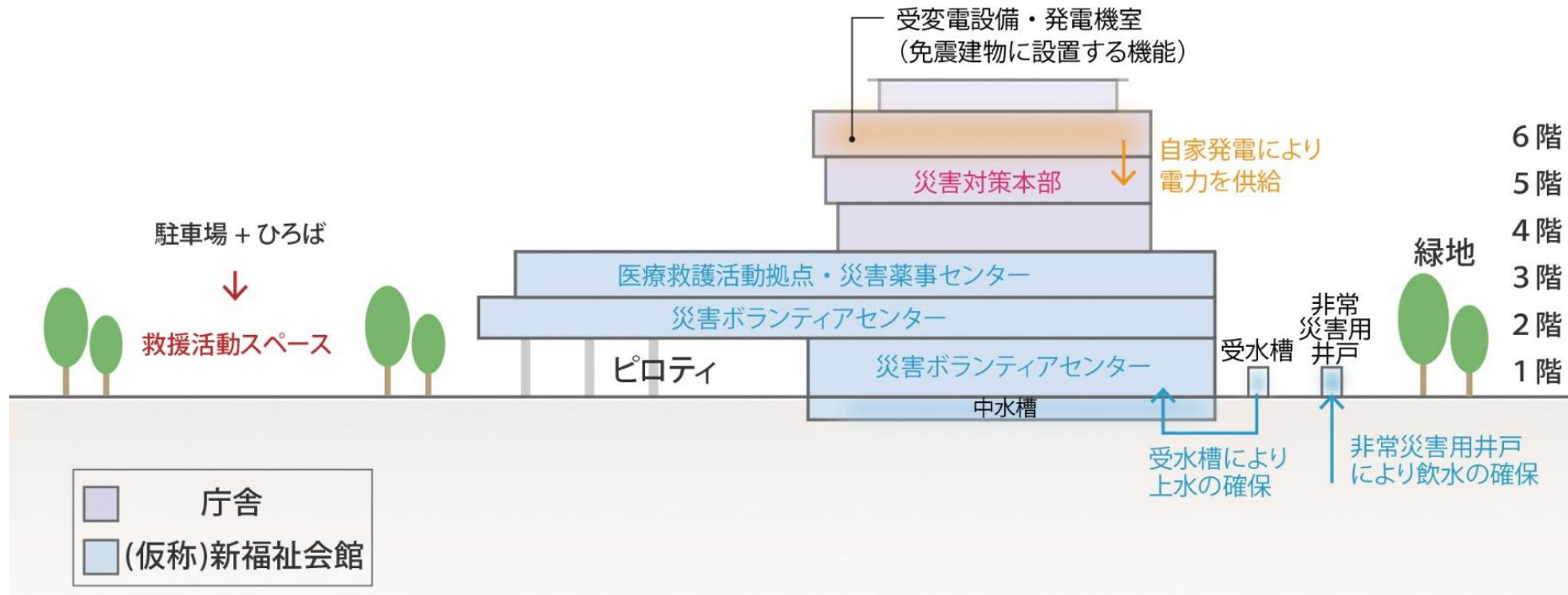
□ 環境計画



◎東西に長い敷地特性や建物形状を活かして、高断熱化するとともに、自然採光や自然通風を取り入れます

◎高効率設備の設置により、心地よい環境を作りつつ、環境負荷軽減に配慮した建物にします。

□ 防災計画



- ◎災害発災時には、庁舎5階の庁議室等に災害対策本部を設置します。
災害情報室等を一体的に活用し、情報の集約化を図ります。
- ◎(仮称)新福社会館のマルチスペースは災害ボランティアセンターに、
また、3階は医療救護活動拠点、災害薬事センターに転用します。

検証報告書[概要版] に基づく検証結果

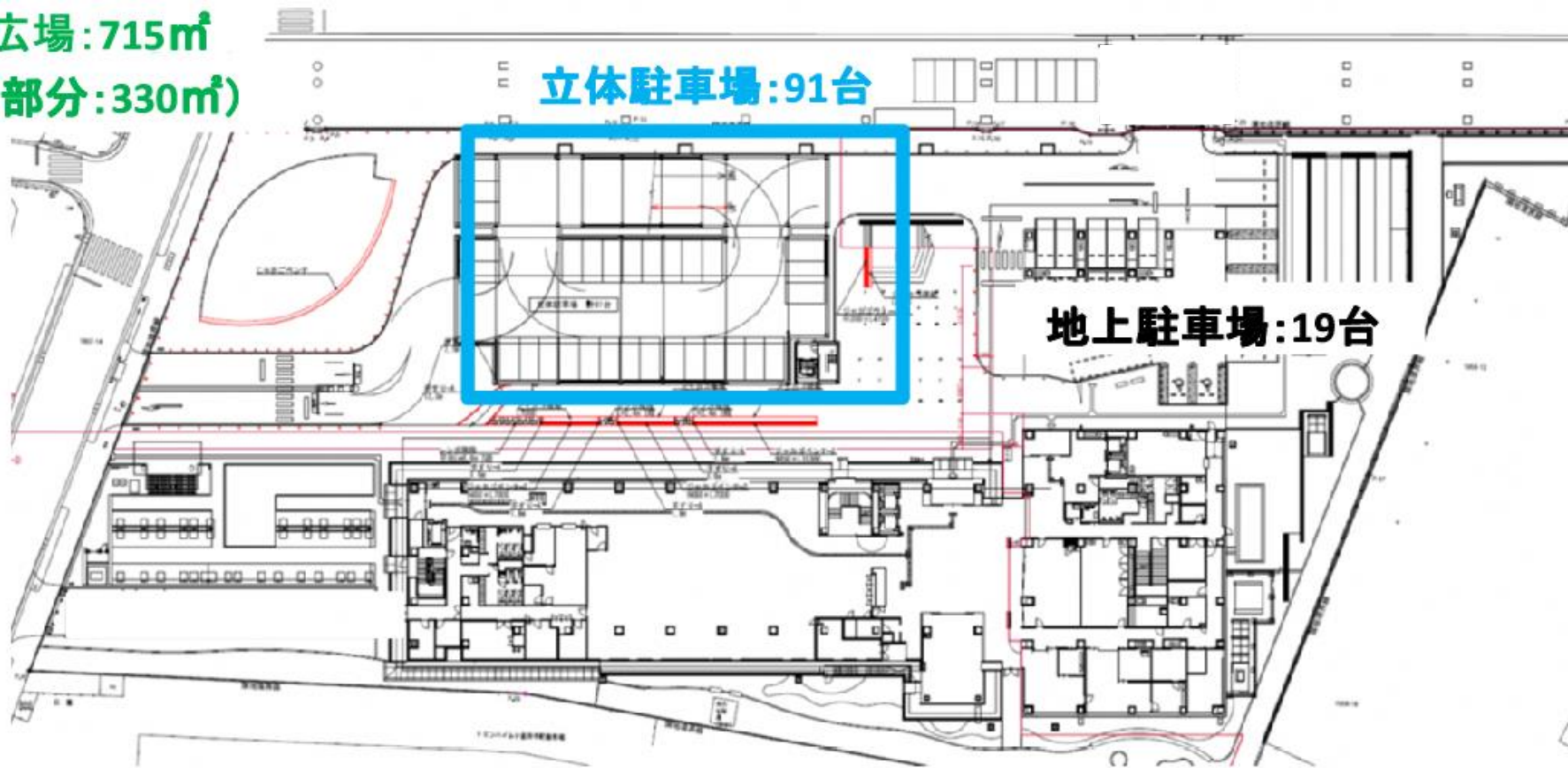
①総耐震＋地下駐車場廃止＋立体駐車場

広場:715㎡

(芝生部分:330㎡)

立体駐車場:91台

地上駐車場:19台

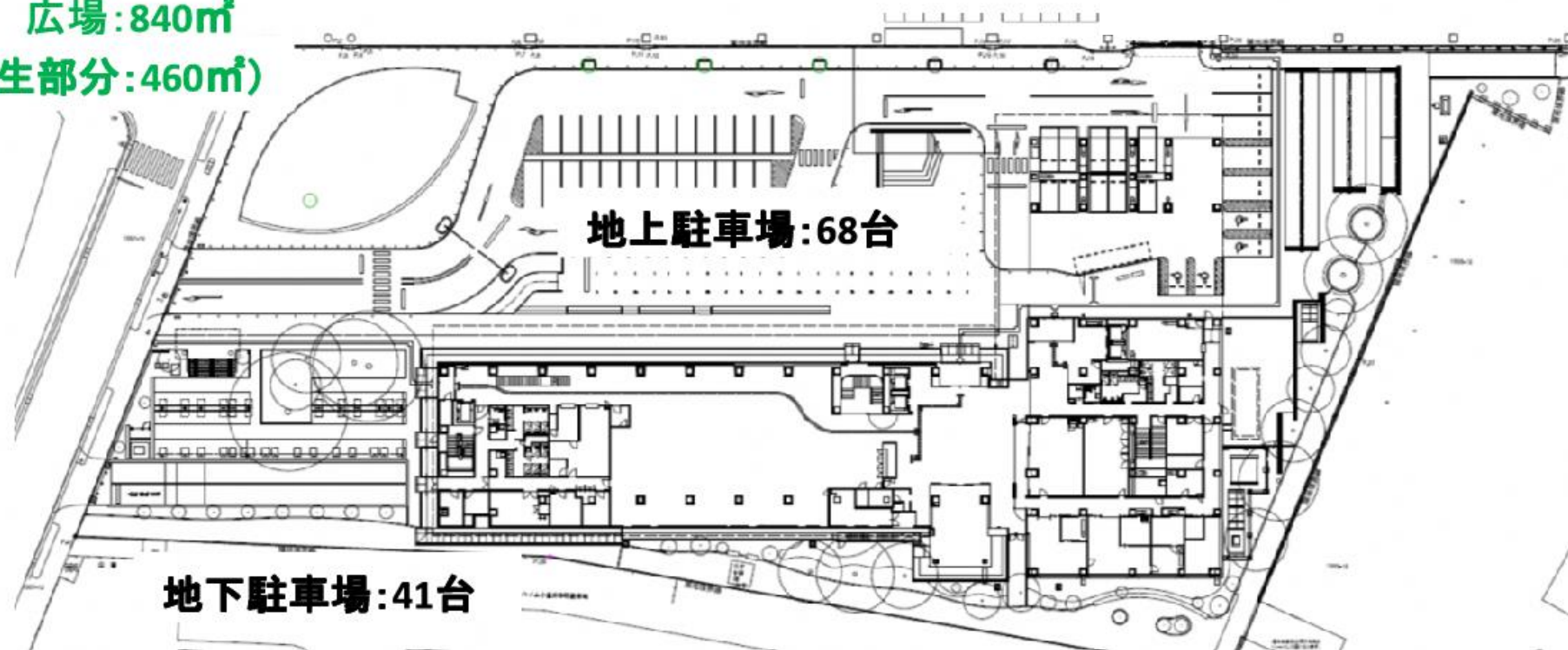


◎敷地内のオープンスペースがなくなります。

◎1階、2階の採光が悪化するほか、広場面積が減少します。(840㎡→715㎡)

②総免震化

広場: 840㎡
(芝生部分: 460㎡)



◎庁舎、(仮称)新福社会館ともに免震構造になります。

◎工事費が大幅に増額になります。(+3.0億円)

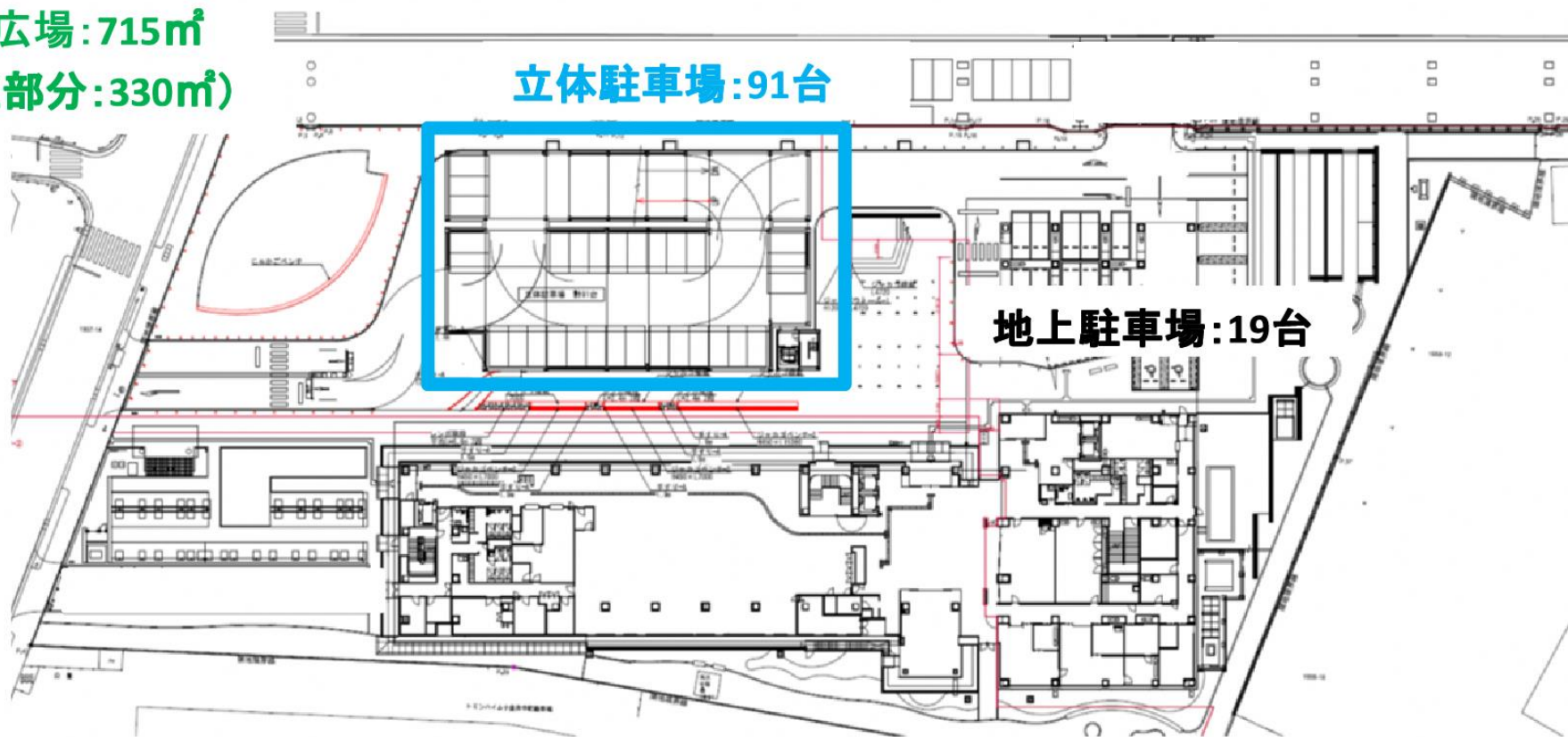
③地下駐車場廃止＋立体駐車場

広場:715㎡

(芝生部分:330㎡)

立体駐車場:91台

地上駐車場:19台

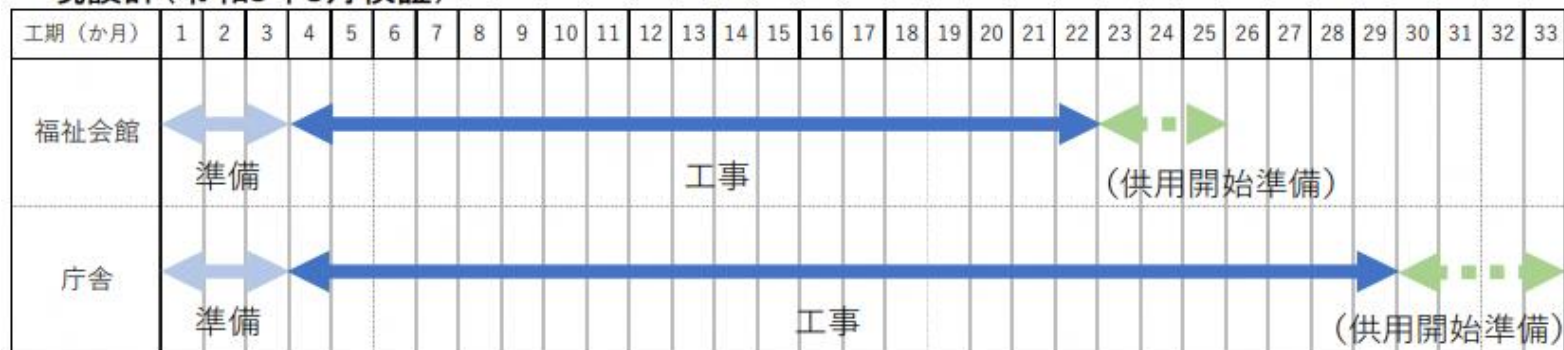


◎1階、2階の採光が悪化するほか、広場面積が減少します。(840㎡→715㎡)

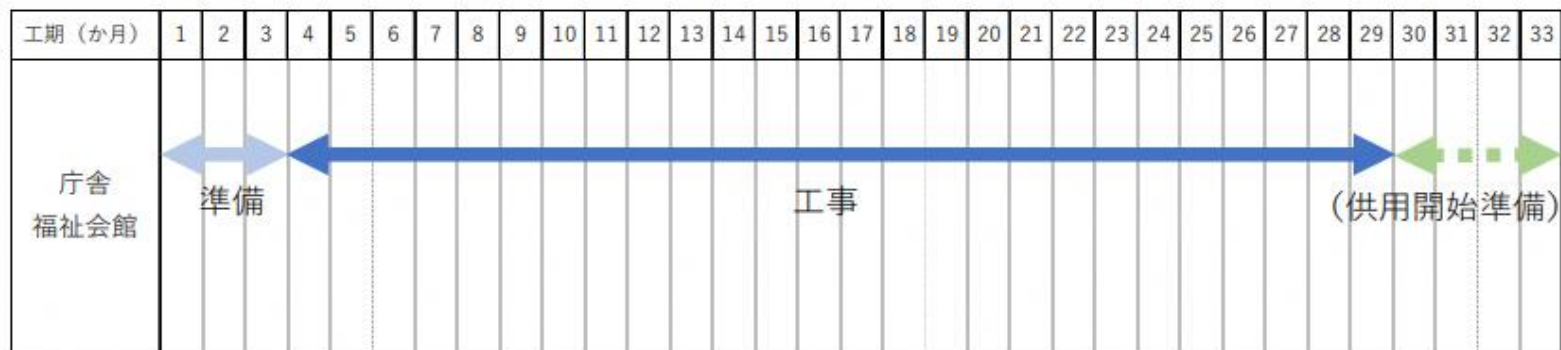
◎工事費が大幅に増額になります。(＋3.1億円)

④同時竣工時の影響

現設計(令和5年8月検証)



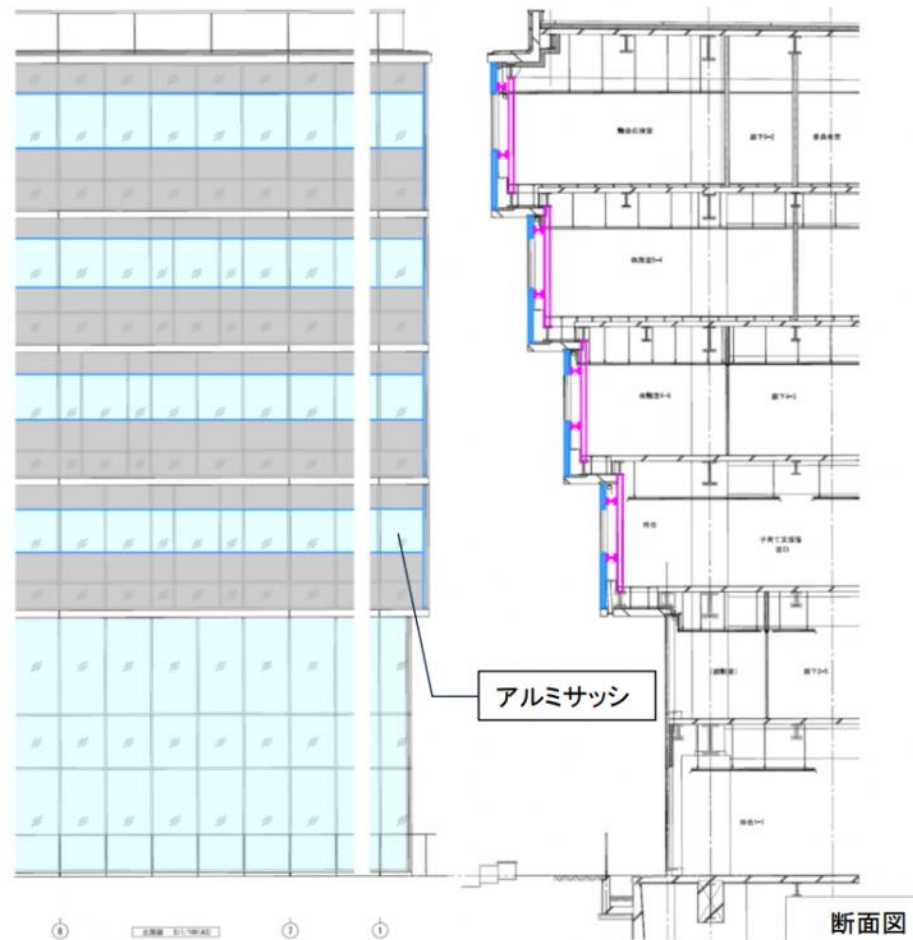
※供用開始準備期間は福社会館3か月、庁舎4か月に仮設定



※供用開始準備期間は4か月に仮設定

- ◎現在、建設業の労働環境の改善、建材納期の長期化で、工事工程が延びる傾向です。
- ◎同時竣工とすることで、福社会館開館時に工事中であることによる問題点が解消されます。

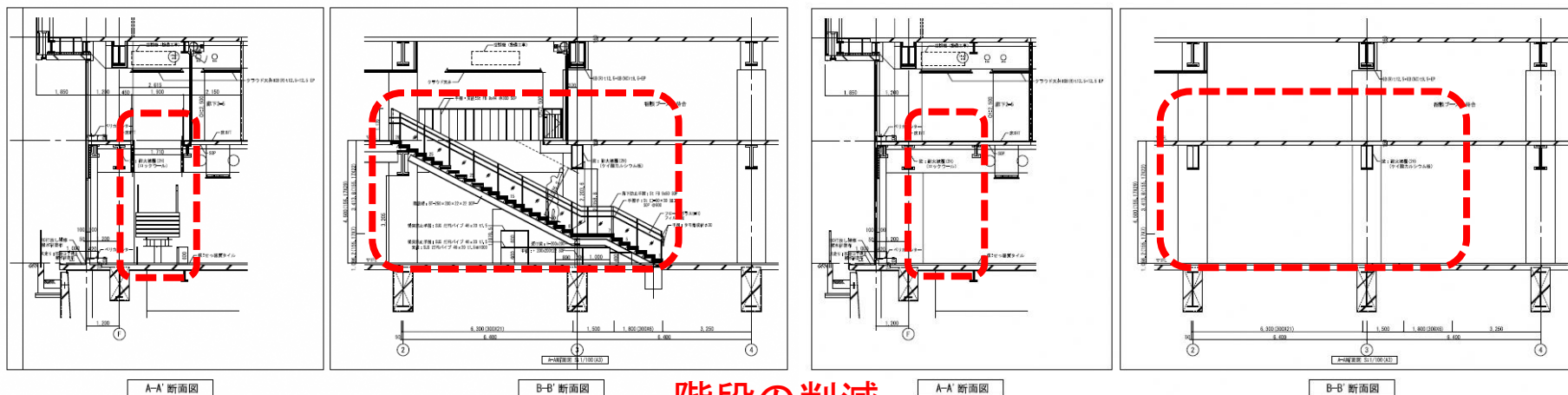
⑤外壁仕様変更(北面カーテンウォールからアルミサッシへの変更)



◎アルミサッシに変更することで、支持鉄骨が必要になります。

◎工事費はやや縮減できますが、構造設計を含めた再設計で、設計費用を含めると、コスト増になります。(+0.4億円)

⑥庁舎西側階段(1階～2階)の削減



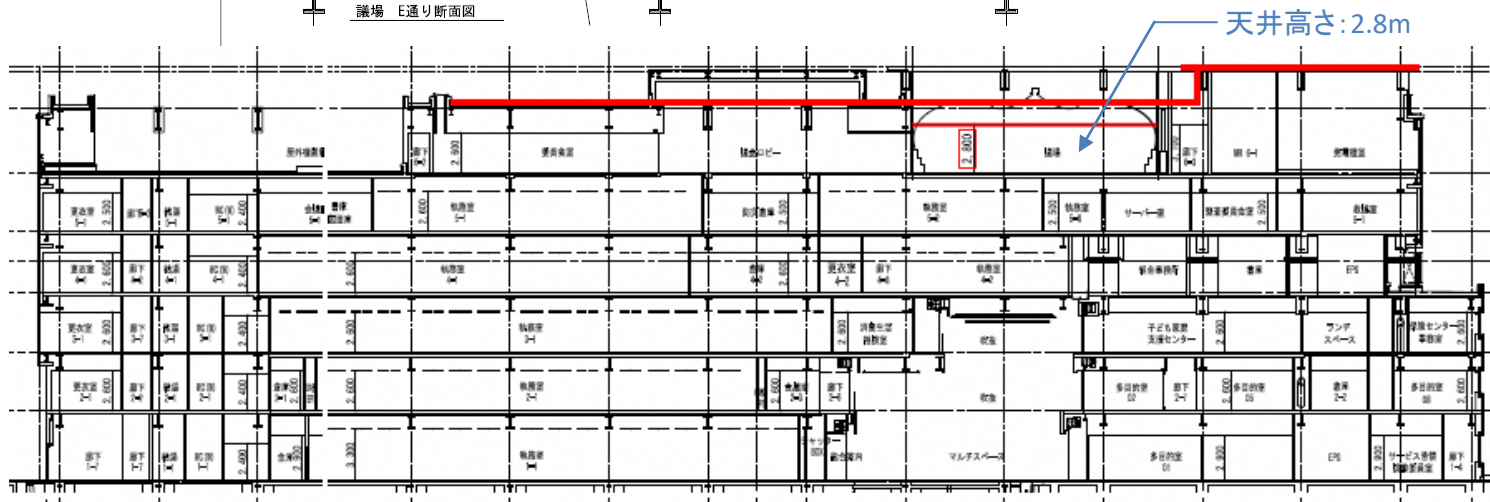
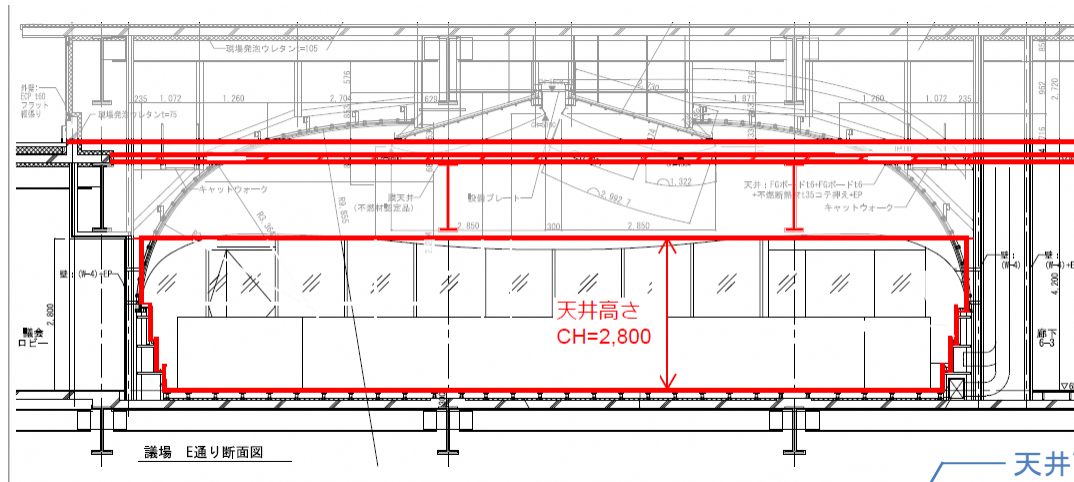
階段の削減



◎階段を削除することで、1・2階の移動の利便性が悪くなります。

◎工事費はやや縮減できますが、構造設計を含めた再設計で、設計費用を含めると、コスト増になります。(＋0.3億円)

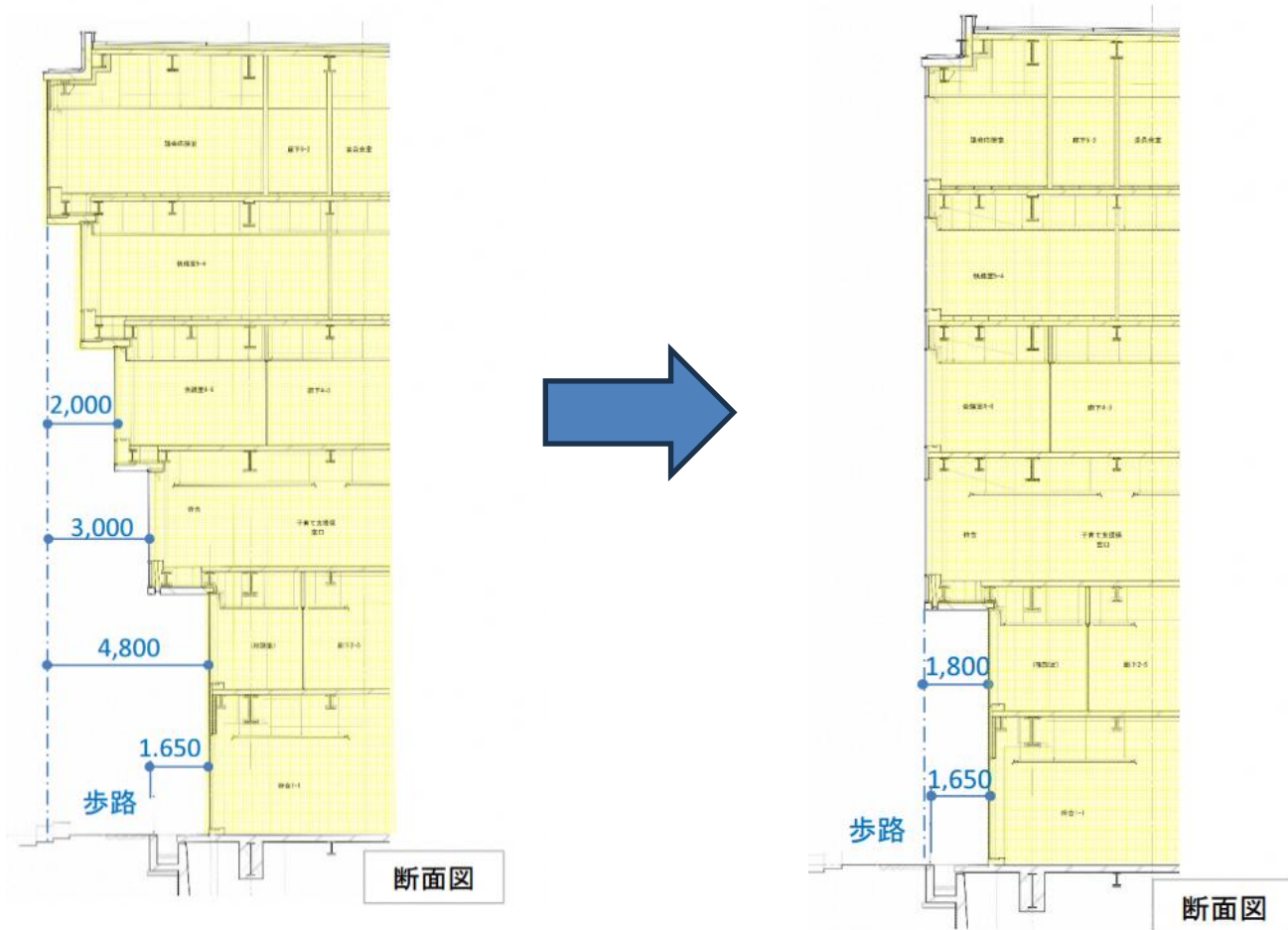
⑦議場の上部カット



◎天井高さが最大5.1mから2.8mに低くなります。

◎工事費はやや縮減できますが、構造設計を含めた再設計で、設計費用を含めると、コスト増になります。(＋0.4億円)

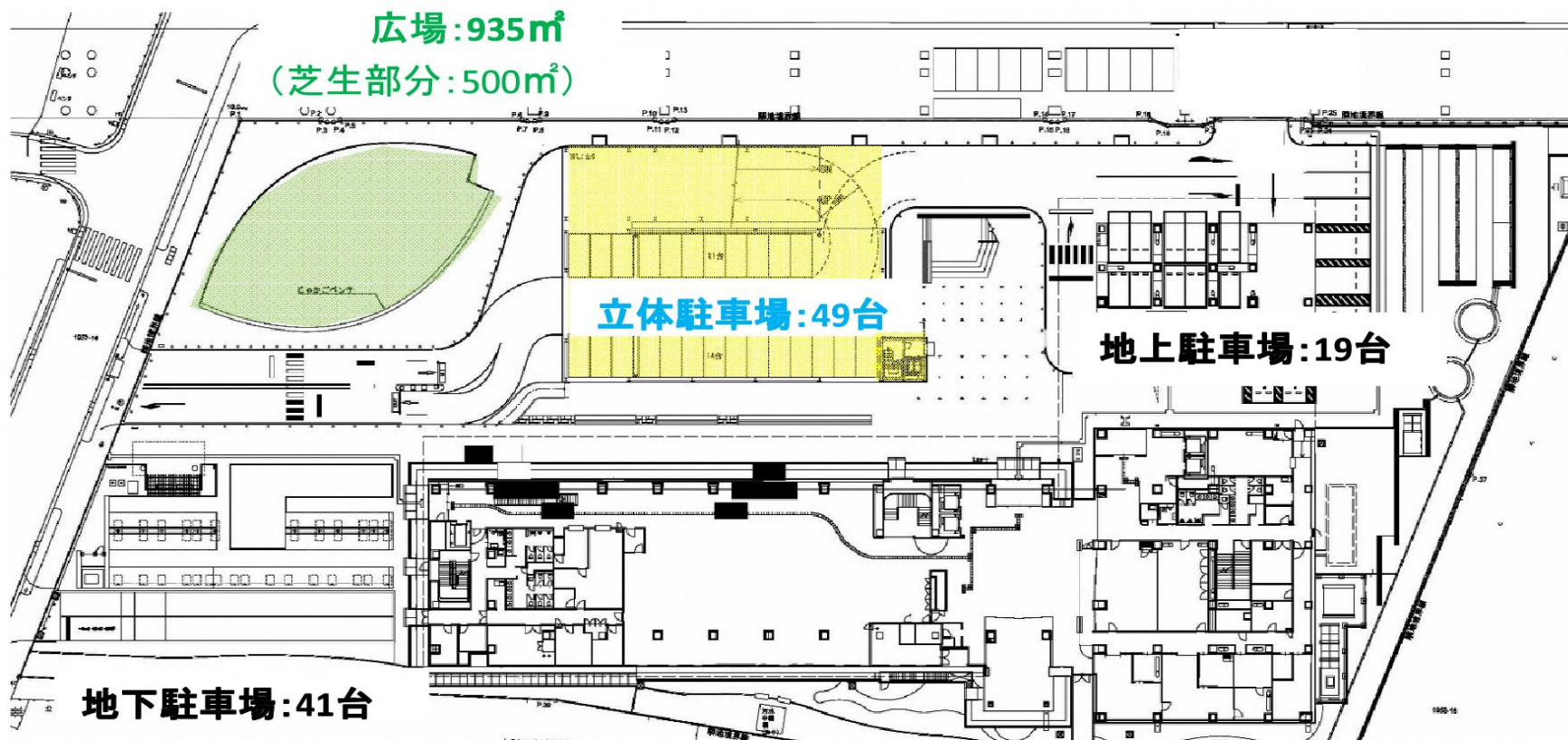
⑧庁舎北側3階以上の段状形状の見直し



◎延床面積が574㎡小さくなります。

◎平面プランの見直しが必要となります。

⑨-1広場の再検討(地上駐車場縮小+立体駐車場)

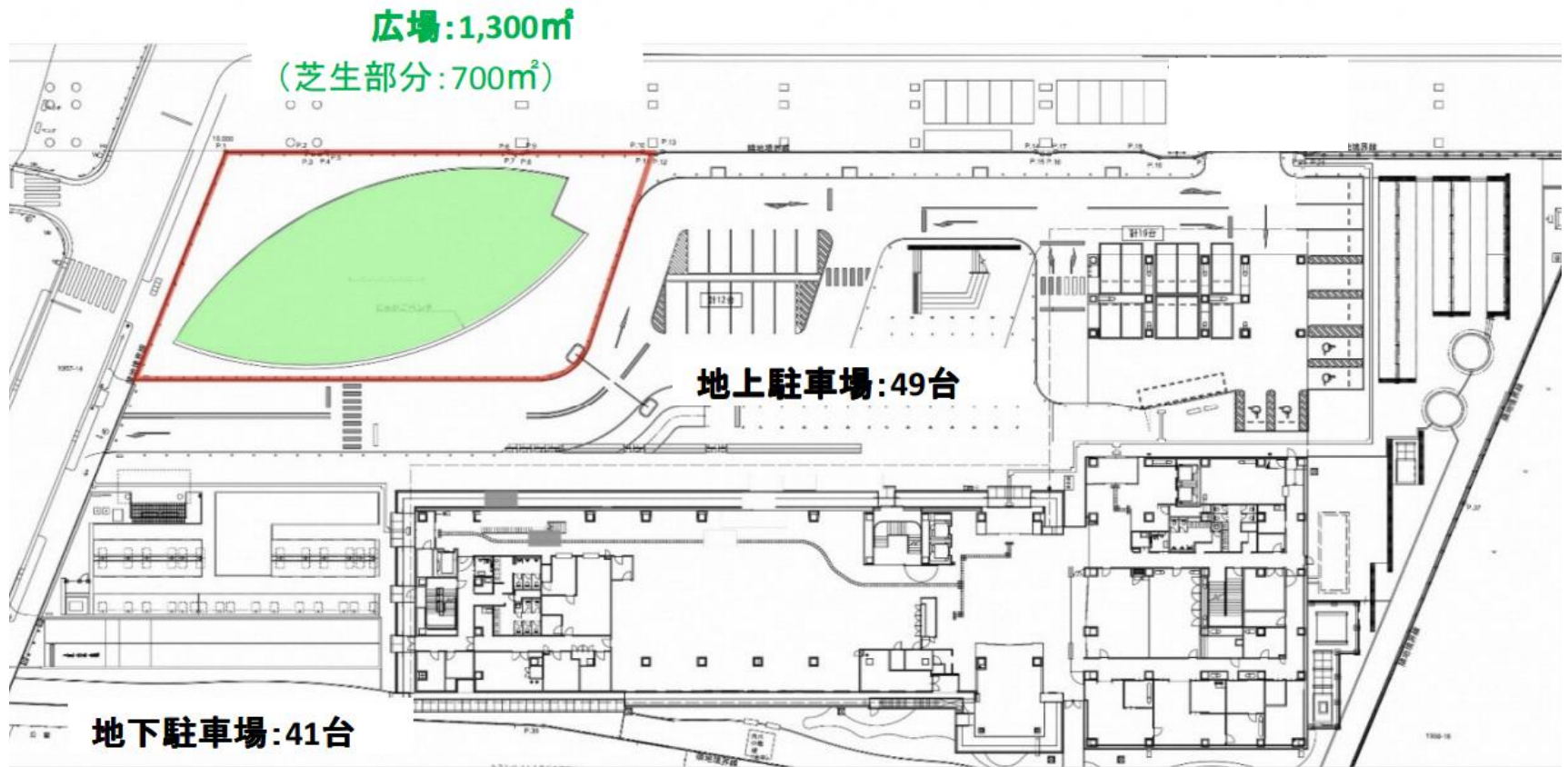


◎広場面積が大きくなります。(840㎡→935㎡)

◎(仮称)新福社会館が立体駐車場で隠れます。

◎庁舎1階・2階の採光が悪化します。

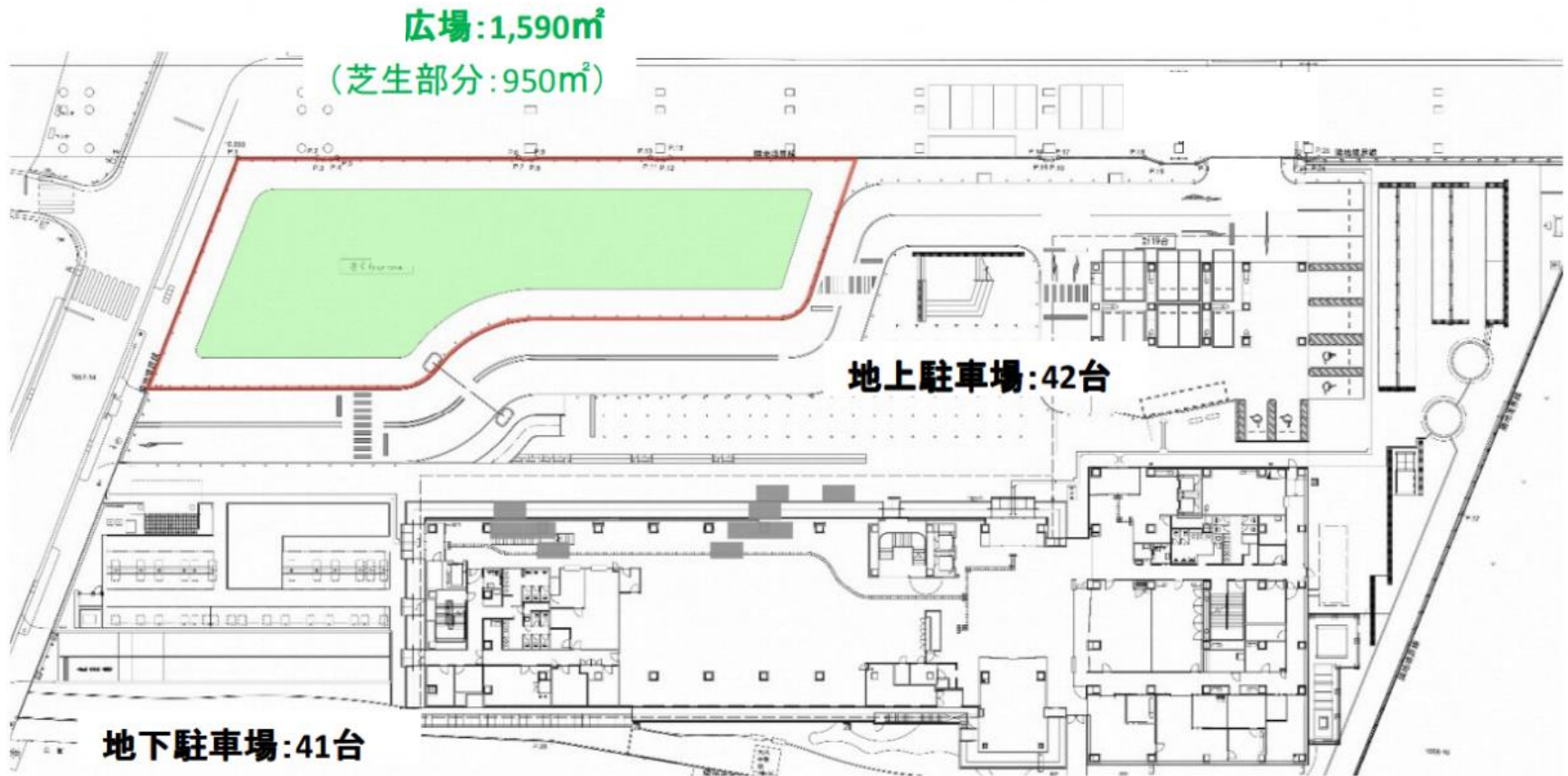
⑨-2広場の再検討(地上駐車場縮小その1)



◎広場面積が大きくなります。(840㎡→1,300㎡)

◎地上の駐車場が68台から49台に減ります。

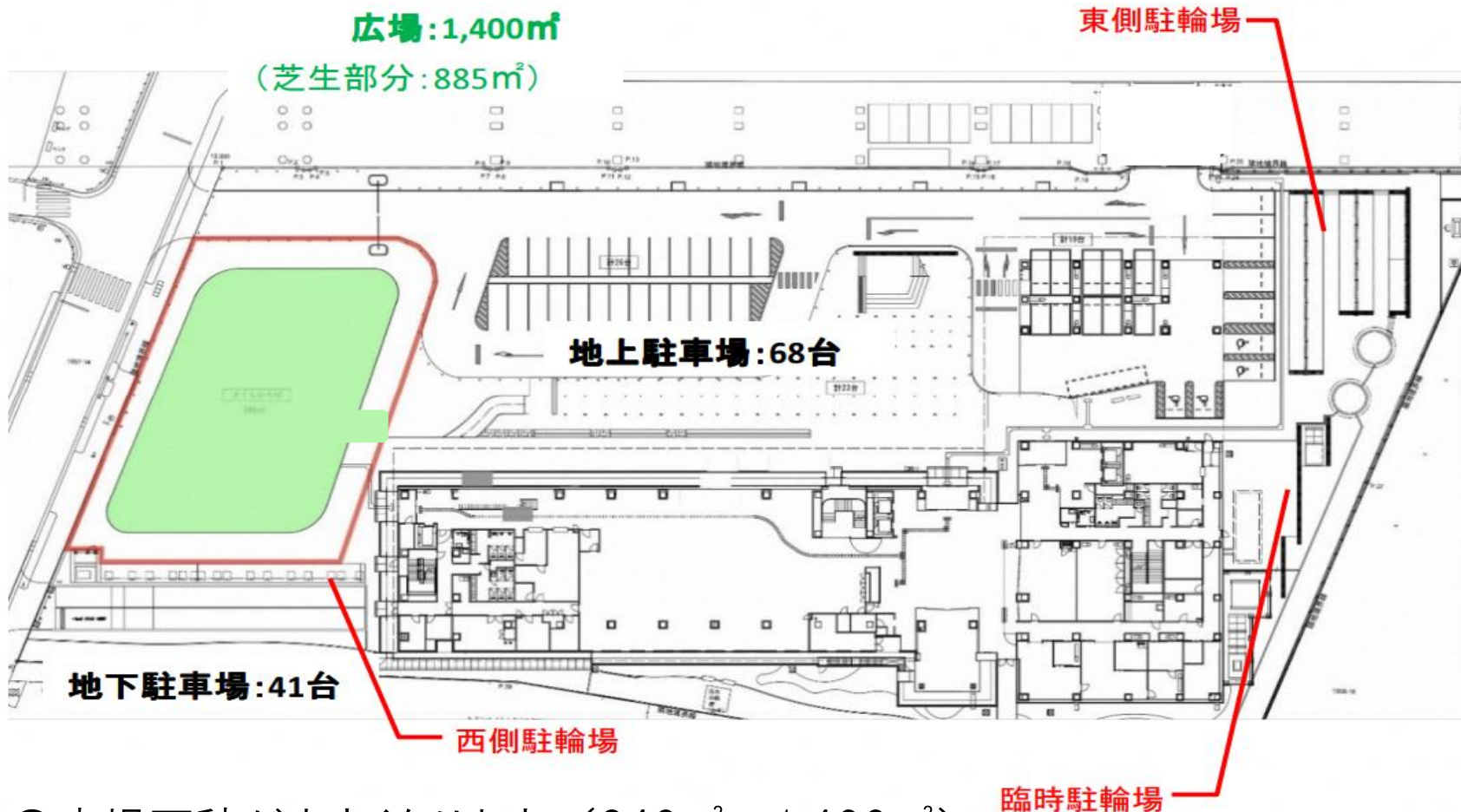
⑨-3広場の再検討(地上駐車場縮小その2)



◎広場面積が大きくなります。(840㎡→1,590㎡)

◎地上の駐車場が68台から42台に減ります。

⑨-4広場の再検討(駐輪場縮小その1)

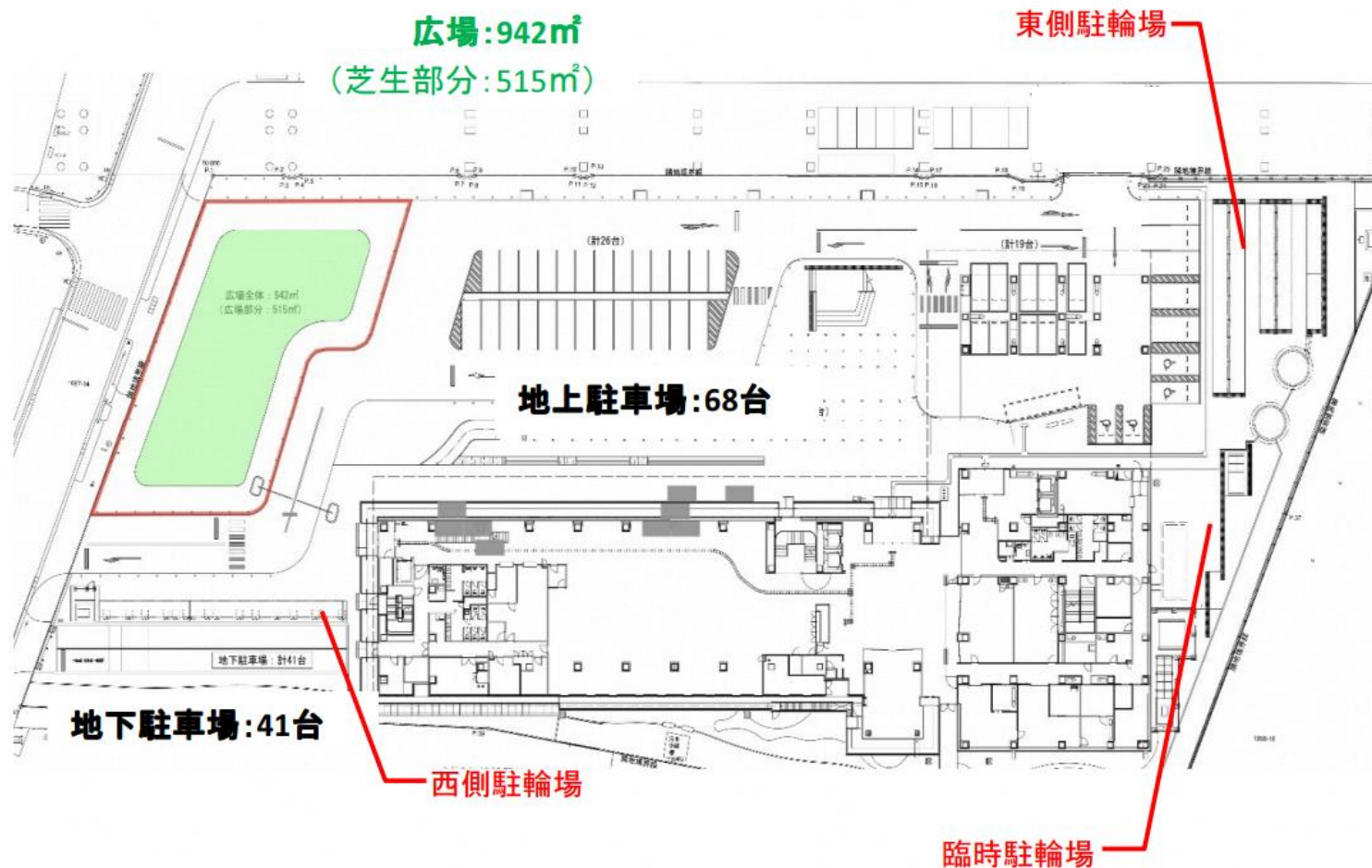


◎広場面積が大きくなります。(840㎡→1,400㎡)

◎西側出入口が交差点に近くなり、警察との協議が必要となり実現出来ない可能性があります。

◎駐輪場が451台から314台～366台に減ります。

⑨-5広場の再検討(駐輪場縮小その2)



◎広場面積が大きくなります。(840㎡→942㎡)

◎駐輪場が451台から314台～366台に減ります。

◎地上駐車場出入口と地下駐車場の出入口が近接し、安全上の課題があります。

